

Ⅲ-② 卒業おめでとう企画「保護者によるキャリア学習(小6)」

平成26年度より、毎年、卒業前の6年生に、保護者から、「おめでとう」と「未来に向けてのエール」を含め、キャリア学習を実施している(下表参照)。今年度は、令和2年2月18日(火)に、2人の方からお話をいただいた。一人がデザイナーからネイルサロン、そして不動産業に転職したAさん、もう一人が薬剤師のBさん。

Aさんはもともと美術について勉強し、デザイナーとして起業した。しかし、体調を崩すなどしたことをきっかけに、自分のライフスタイルや働き方を見直し、現在の不動産業を始めたという話。1つのことをずっと続けることも大切だけれど、色々なことにチャレンジすることも世界を広げる上で大切であること。また、自分を分析し、自分の中で得意なことを見つけていくことが、楽しく働ける仕事につながるなどを話していただいた。

Bさんは薬剤師の仕事について話していただいた。その中で、患者さんがいつ、どの薬を飲めば良いかが分かりやすいように袋を小分けにしていること、絶対に菌などが入らないように服装や消毒を徹底していること、薬の最新情報を知るための勉強会に参加していることなど、子供たちが普段見られない部分について詳しく知ることができた。相手のことを考えて対応することの大切さ、チームで助け合って成長していくことの大切さなど伝えていただいた。子供たちは、自分のなりたい仕事と重ね合わせながら、真剣に話を聞いており、あっという間の45分間であった。

H26	H27	H28	H29	H30	R1
建築士	放送・通信業	外科医	麻酔科医	自衛官	薬剤師
社会労務士	整理収納アドバイザー	コンピュータプログラマー	スポーツ振興業経営	医者	不動産業
			アナウンサー	獣医	

1 活動の様子



自分の得意なことを見つけていく(不動産業)



相手のことを考えて対応(薬剤師)

2 子供の声(一部)

- ・どの職業にも共通しているのが、自分が楽しいと思ったり、良いところがあると感じたりすることだと思う。自分が将来職業に就くときにも、1番は自分に合った職業を見つけて楽しくすることが大切だと分かった。
- ・仕事ではうまくいくこともうまくいかないこともあるということがよく分かった。でも工夫次第で色々なことができるということも分かってよかった。
- ・自分の体調や体質に合わせて仕事をするということのも大事な視点だと分かった。自分に合わなくて、できなくなっても他にもたくさん仕事があるから自分に合った仕事を見つけられると知って安心した。
- ・挫折や失敗をしてもあきらめずにがんばるのがプロフェッショナルだなと思った。